

令和4年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和4年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

# 第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和4年8月3日（水）10：30～12：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

職業実践認定校として、自己評価委員会での課題をふまえ、より良い学校になるために、改善に取り組んでいます。今後も引き続き、忌憚ないご意見宜しくお願い致します。

## 【議題】

### 1. 令和4年度第1回自己評価委員会報告

令和4年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和4年度中間報告として、教育理念の3項目・学校運営の3項目・教育活動の6項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の3項目・学生募集と受け入れ3項目について、評価4について継続的に向上した部分報告評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

目標設定の在り方は変化してきている中、全体の質が向上してきているので高評価である。

引き続き、細部まで確認し、どう具体的に行動に移していくかが重要である。上を目指して行ってほしい。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

今年度はより一層、生徒募集に力を入れてほしい。

**（基準1）総括** 環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。また美容業界で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

- ・自立し力強く活動していくための総合的な力を養うとともに、相手の立場に立った必要なコミュニケーション力を身に付けられるよう、「礼儀・挨拶・整理整頓」を重点目標として指導している。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにアップセット・ネイル・メイク・ブライダル・カット・カラー・まつげエクステンションのうち2課目の選択をして授業を行った。

### 学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・選択授業を増やした理由は？→昨年度仮校舎のため、匂い問題があり選択パーマを実施することが出来ず、ブライダル・カットを追加したところ、生徒からの評価が高かったため、両校で相談し決定した。パーマについては、サロン現場において必要と考え、必修科目にて実施している。

### 学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・礼儀・挨拶について・・・就職内定先とのインスタやSNSのやり取りについても礼儀を教えておいてほしい。対面のみでない、マナーも大切である。

### 今後の改善方策

- ・担任とのクラスLINEでの対応もふまえ、社会に役立つ人材育成として、きちんと教育していきたい。

**(基準2)** **総括** 第8次5か年計画（令和2年～6年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を行う。

- ・令和4年3月竣工
- ・採用後も定期的な技術確認や面談を行い、指導内容の充実や意欲向上に務める。
- ・現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成。
- ・生徒情報管理システムは入学前の生徒募集から卒業後までを管理し、今後の生徒募集にもつながるため、ホームページとの連携も併せて改善が必要である。

**学校関係者評価委員コメント** 早川委員より

- ・人材確保について、卒業後もフォローしている中で、卒業生から先生への流れにしていくことも必要なのでは。または、サロンとの兼任もあっても良い。

**学校関係者評価委員コメント** 杉山委員より

- ・新卒採用の応募はあるのか？  
→現状難しい部分がある。  
→助手からの採用も検討していても良いのでは。そのためには、キャリア保障も必要である。

**今後の改善方策**

- ・人材育成については、難しい部分もあるが引き続き大切に育成をしていきたい。  
良い人材がいれば紹介してください。

**(基準3)** **総括** 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。両校で2学年選択授業にカラーとまつげエクステンションを取り入れた。教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

- ・ヘアカラー専門店やメンズ特化サロンなど多様化している美容業界と、興味あるものが絞られている生徒が増えているため、一般的な美容技術+特化した技術を取得することで業界の人材ニーズにむけて方向づけられていく。  
特化した技術だけでなく、基礎的知識や技術を習得することが必要である。学ぶ習慣のない生徒にとってもやる気が持続できるように指導していく。
- ・時代に沿った、カリキュラム内容を検討しつつ、教職員のスキルアップのための講習を行っていく。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・学校目標の統一見解・現状把握と問題の共有

**学校関係者評価委員コメント** 杉山委員より

- ・指導力向上に向けての研究会は全職員対象とのこと。常に向上し続けている姿勢は素晴らしい。  
引き続き、頑張ってもらいたい。

**学校関係者評価委員コメント** 早川委員より

- ・VR授業の導入も必要な時代では。新しい時代に合った授業内容・指導方法を研究し、導入して欲しい。

**今後の改善方策**

- ・新しい指導方法を検討し、前向きに導入していきたい。

(基準4) 総括 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

- ・令和3年度美容師国家試験 93.8%、日本エステティック協会認定上級エステティシャン 100%
- ・生徒への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行っている。担任だけでなく、学校全体の問題として取り組み、目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさを育てる教育をしていく。
- ・生活指導と目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさを育てる教育をしていく。
- ・第14回全国理容美容学生技術大会 まつげエクステンション 優勝・準優勝 カット  
敢闘賞3名 アップ 敢闘賞2名 WD 敢闘賞1名 デッサン 優秀賞1名

学校関係者評価委員コメント 早川委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・理美容甲子園への取り組みについて、時代の流れ。生徒の考え方に合わせた指導をしていってほしい。

今後の改善方策

- ・コンテスト・理美容甲子園について、年々生徒の考え方。取り組み方も変化している。無理のないよう在校生満足度に繋がるよう慎重に考えていきたい。

(基準5) 総括 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・まず信頼関係のある担任が相談にのり、専門のカウンセラーと連絡をとって対応していく。校長中心に学校全体で連携し解決に導いている。感染の疑いがある生徒に対して、担任や学年からの課題作成を行うよう指示を出し、学びの場を止めることなく実施できている。また、体調確認や意識調査などにより、早めの対応を行うことができている。教職員のメンターとしてのスキルアップをしていきたい。
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底している。
- ・コンテストに関わることにより、忍耐力や研究心が育まれるため、沢山の学生にチャレンジさせていきたい。
- ・ボランティアなどに参加することにより、美容の持つ力と優しさを学ぶことができる。感染対策を徹底しつつ、可能な状況を作って実施していく。
- ・欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行くよう協力して取り組んでいる。 ・感染状況によって不安な保護者もいると思われるため、随時感染対策などの本校の実施状況をオクレンジャーなどで通知している
- ・HPなどを利用して、広く卒業生へ支援していける準備をしていきたい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・担任制は絶対なのか？→学校法人として、40名に必ず1名の担任がつくよう規定で決まっている。  
→生徒と職員の相性もあると思うので、学校全体でサポート体制ができる環境にしてほしい。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ヘアフェスティバル371名もの多くのお客様に来てもらったとのこと。とても素晴らしい。  
新校舎での開催イベントの成功が、学生募集に繋がっていくと良い。

**(基準6)** **総括** 新校舎で新学期がスタートし、電子黒板や Wi-Fi などを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

新校舎を美しく維持できるよう、隅々までの清掃を心掛け、おもてなしの心を育んでいく。

- ・受け入れ人数を最大使用量とし、平等な授業を行えるか
- ・職員によるものと、外部へ依頼するものを選別して行っていく
- ・多様化する美容技術に対応する中で、生じていくであろう施設・設備の更新は速やかに、計画をもって実施していく。
- ・昨年度に引き続き、オクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。

**学校関係者評価委員コメント** 早川委員より 適切に行われている。

**学校関係者評価委員コメント** 杉山委員より

- ・清掃について・・・ゲーム感覚や楽しさを見出していく教育が必要では。サロン現場でも、分業化している時代である。

**今後の改善方策**

- ・コロナ禍であるため、感染対策・感染予防・消毒まで出来ることを、意識させ清掃までもきちんと行える生徒に育てていきたい。

**(基準7)** **総括** : 令和3年度の入学生の確保は、コロナ禍において高校生・保護者の県内進学への意識喚起につながり追い風となった。令和4年度においても同様の傾向を感じることができる。

- ・ビューティビジネス科への職業理解と入学動機を喚起して、入学生の確保に努める。
- ・2年生への就職指導は感染状況を注視して、オンライン面接指導等、臨機応変に対処していく。
- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する。打ち合わせを開始している。
- ・学園HP内容リニューアル準備業者に依頼し、進めている。
- ・令和6年度実施に向けて、ネット出願準備・打ち合わせ
- ・インスタ内容・ネット広告・T i k t o k など、SNS/WEB 広告導入に向けて打ち合わせ
- ・令和5年実施に向けて入試制度・特待生・指定校の見直しをし、募集要項作成済である。
- ・特待生・指定校生の入試制度変更内容について、高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・インスタ内容・ネット広告・T i k t o k など、SNS/WEB 広告導入に向けて打ち合わせ
- ・学生募集において、オープンキャンパスが最終決定の要となるため、内容をより興味を持ってもらえるよう、検討した
- ・新入学制度説明のため、8月高校廻り実施準備を開始している。

**学校関係者評価委員コメント** 杉山委員より

- ・特色として、先生と生徒が学校の魅力であることは、とても素晴らしい。継続して行ってほしい。
- ・就職について、リクルートはシビアな時代である。新人教育の難しさ。中途採用に力を入れるサロンの増加。今まで以上に競争社会であることを、きちんと認識して就職活動を行わせてほしい。

**学校関係者評価委員コメント** 早川委員より

- ・辞める理由も変化してきている。働き方に対する主張が強い。サロンの現状の厳しさ。ギャップを学校でも伝えて行ってほしい。

**今後の改善方法**

- ・学生募集においては、在校生満足度を1番に考え、より良い魅力的な学校。選んで頂ける学校になるよう工夫し、努力していきたい。
- ・就職について、社会人として働く事。覚悟。現場の実情。マナー等を、事例を挙げながらきちんと生徒に理解させていき、社会人としての心構えを構築していきたい。

**(基準8)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント** 適切に行われている。

**(基準9)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント** 適切に行われている。

**(基準10)** 継続して、問題なく実施できている。

**学校関係者評価委員コメント** 適切に行われている。

## 2. 重点目標について（別紙1・2参照）

### （1）令和4年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和4年度重点目標の実施状況の報告

#### ○重点目標① 【 教育活動 】

自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力

- 生活習慣の基本
- 専門的な知識

#### ○重点目標② 【 教育環境の整備 】

生徒育成のための教員としての力をつける

- 教職員の技術力向上
- メンターとしての指導力向上

#### ○重点目標③ 【 学生募集 】

- リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善
- 在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

#### 学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・「美容を通じた家族」というフレーズは素晴らしい。今後も重点目標を軸に頑張ってもらいたい。

#### 学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・長くプロフェッショナルとなるビジョンを、しっかりと伝えていってほしい。継続する大切さ。【一生の職】として、やめない人材育成を今後も続けてほしい。

#### 今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・資格取得も大切だが、生徒自身が自分の強みを作っていくことを目標として、今後も活躍できる人材育成に力をいれていく。

【まとめ】 学校としていろいろな課題があるが、一つずつ前向きに頑張っていきたい。

## 3. 次回予定

令和4年度第2回学校関係者評価委員会 令和5年2月22日（水） 10：30～